

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮小】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 全体的に基礎的な知識や技能は定着率が高いが、全国や市で正答率が低い設問に対しては、本校でも課題が見られる。 【指導上の課題】 個別の課題の定着を図るための時間を十分に確保できていない。	⇒ ドリルパーク、計算・漢字ドリル等を活用し、個別に知識技能の定着を図る。【授業ごとの実施】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICTを活用した協働的な学習に取り組んでいる時間が少ない。 【指導上の課題】 系統立てた指導計画や、スキルの共有が図れていない。	⇒ 各授業において、ICTを活用した方が効果が高いと想定できる場面において、意図的に協働作業を取り入れていく。【「学びの指標」質問項目の13～15における児童の肯定的な回答割合が80%以上】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)